

新町のまちづくりの基本的な考え方〔企画分科会案〕

広域的なまちづくりの課題と本地域の特性を踏まえ、合併した場合の新町のまちづくりについては、次の考え方を基本とします。

地方分権に対応した総合的な行政サービスを提供できるまちづくり

新町は、都市機能が持つ生活利便性と田舎の持つ自然環境の良さを兼ね備えた新しい時代の価値観に基づく町として発展していくために、合併による財政効果を活かし、新たなまちづくりを総合的、一体的に進め、住民一人ひとりが質の高いサービスを平等に享受できる社会の実現を目指します。

両町がこれまで培ってきたまちづくりを尊重しつつ、その特色をネットワーク化し、地域の新しい魅力を引き出すことのできるまちづくり

秦荘町と愛知川町は、それぞれ「心ふれあい元気なまちハーティータウン秦荘」、「安心、感動、元気がみんなの財産～愛と笑顔いっぱい[やすらぎ街道都市]愛知川」を将来像に掲げまちづくりを進めてきました。両町がこれまで培ってきたまちづくりを尊重しつつ、地域の人材、歴史、文化、産業等の資源を活かし、ネットワーク化を図りながら、新しい魅力あるまちづくりを進めます。

住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり

人と自然を尊ぶ住民一人ひとりが、まちづくりの主役は住民であることを自覚し、住民や団体、企業が地域づくりに積極的に参加し、それぞれの役割を担いながら、「わがまち」を協働でつくるまちづくりを進めます。

ふるさと都市機能の充実したまちづくり

豊かな自然環境を守りながら、(仮称)湖東三山インターチェンジや国土軸、新国土軸、都市軸、地域連携軸等の道路交通体系の整備を図り、都市的利便性を兼ね備えたところ豊かなライフスタイルを創造するまちづくりを進めます。

効果的な行政運営によるまちづくり

高度化、多様化する行政需要に対応し、適正な行政サービスを行うため、行政機能の向上をはかるとともに、行財政改革を推進します。

また、住民福祉の向上をいかに効率的、効果的に図るかを基本として、それを実現化するための意思決定の迅速化、組織機構の見直し、行政評価システムの導入を図りながら、効率的・効果的な行政運営によるまちづくりを進めます。